

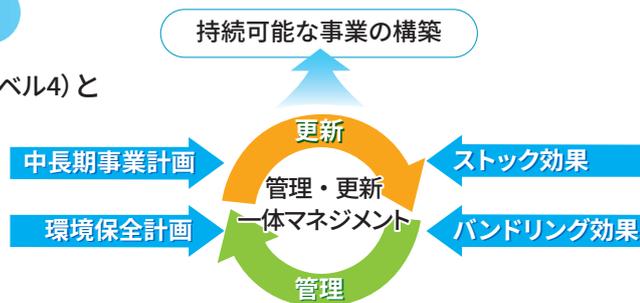
# 官民連携 (PPP) の推進に向けたご提案

## 官民連携事業への対応

NJSは官民連携事業を導入する官側の支援としての導入可能性調査や発注支援、履行支援だけでなく、地域の下水道事業の担い手(プレイヤー)としての事業参画を進めています。

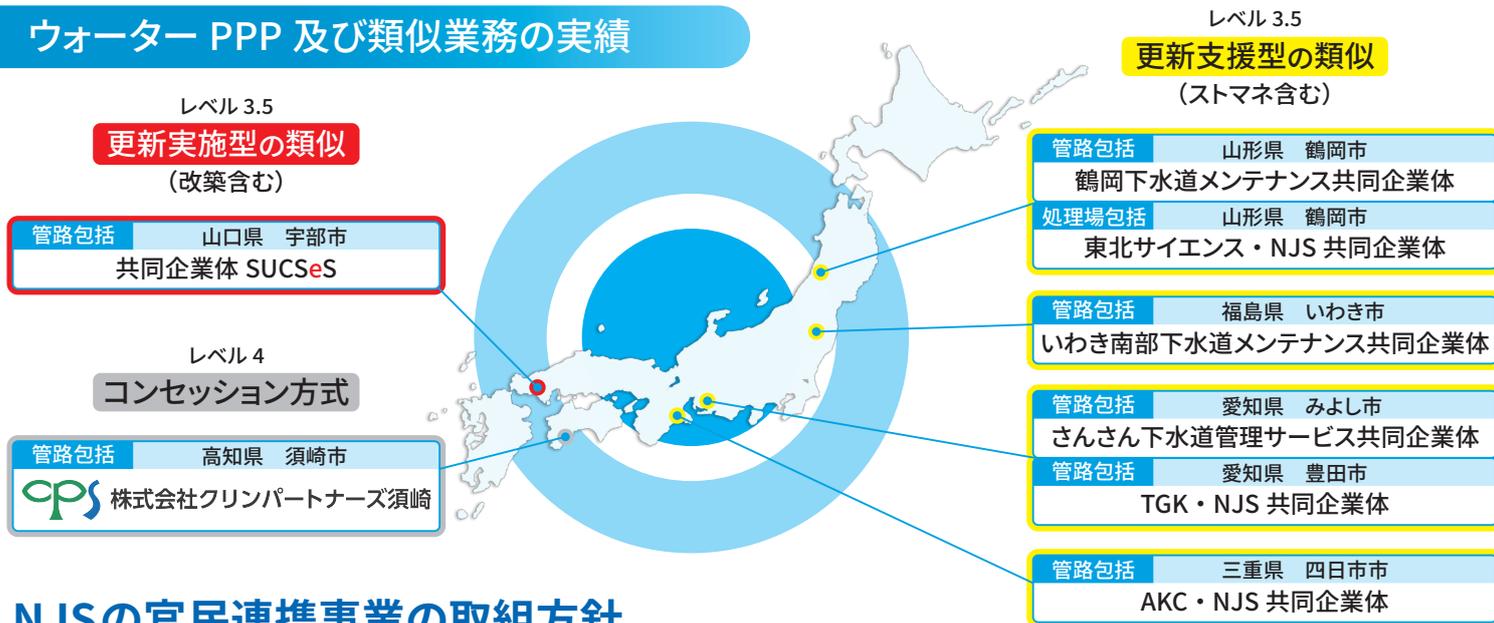
### ウォーター PPP

- 新たな官民連携手法であるウォーターPPPは、コンセッション方式(レベル4)と管理・更新一体マネジメント方式(レベル3.5)の総称です。
- レベル3.5は、従来の包括的民間委託(レベル3)に改築更新を加え、長期にわたり維持管理と更新を一体的に行うものです。
- ウォーター PPP のメリット



長期包括化による 事務負担の軽減	設備状態に応じた 柔軟な修繕・更新による LCC 縮減	省エネ設備導入等の 積極的な投資を期待	地元企業の対応力強化 とともに担い手確保
---------------------	-----------------------------------	------------------------	-------------------------

### ウォーター PPP 及び類似業務の実績



## NJSの官民連携事業の取組方針

NJSはアドバイザー、プレーヤー双方の側面で官民連携に取り組むことが可能です。プレーヤーとして事業に参画する場合は、事業化検討以降のアドバイザー業務には原則関与せず、公平な競争環境を確保することとします。

事業段階	企画	事業化検討	契約	事業実施	履行監視
NJSサービス	アドバイザーとして	・ 基礎調査	・ 導入可能性調査	・ 発注支援	・ モニタリング
	プレーヤーとして	・ PFI 法民間提案		・ 包括的民間委託 ・ ウォーター PPP ・ DB、DBO、PFI	

# 官民連携お困りですか？

